

# 「令和7年度第一回 実践報告会」 開催のご案内！！

皆さんこんにちは♪ 今年度もブロック活動として、実践報告会を開催します。

今回は、成島園地域包括支援センターに勤務されている長谷川 要さんに、日々の実践をふりかえりご報告いただきます。

将来的には「実践研究」にもつながるようなエッセンスをちりばめて、皆さんの普段の実践に役立つ報告会としたいと思いますので、特に実践に課題を感じモヤモヤしている方は、ぜひご参加ください。

詳しくは、次ページの実施要領を参照ください。

日 時： **令和7年9月20日(土) 10時～11時半頃**

内 容： **「実践報告会」**

【報告者】

・長谷川 要さん（成島園地域包括支援センター）

場 所： **米沢市すこやかセンター 3階団体室**（米沢市西大通 1-5）  
定員 30 名



参加方法： 申し込みの手続きは不要です。  
当日、会場にて、所属や氏名等を確認させていただきます。

そ の 他： 置賜ブロックの会員の方のみに案内していますが、県土会の会員であればどなたでも参加可能です。  
「おきたま LINE」に登録されている方には、紙チラシは送付していませんので、ご了承ください。

問い合わせ：山形県社会福祉士会 事務局  
山形市小白川町 2-3-31(山形県総合社会福祉センター内)  
【連絡先】 電話： 023-615-6565  
Fax： 023-615-6521

または、「おきたま LINE」内でご連絡ください。

## 1 目的

会員の社会福祉実践の報告機会を設けることにより、報告者は日々の実践をふりかえり、言語化・可視化することで、社会福祉士の専門性を再確認する機会とし、参加者は他者の実践から幅広い知識・技術・姿勢などを学ぶことを目的とする。

また、会員が集まり交流を図ることで、「顔の見える関係づくり」や「職能団体としてのネットワーク強化」を目指す。

## 2 参加対象者

山形県社会福祉士会 会員(置賜ブロック以外からの参加も可)

## 3 参加費

無料

## 4 実践報告の概要

会員は、下記の内容について発表する。

### ① 自己紹介

### ② 所属している組織、職種や業務についての説明

### ③ 実践の報告

(報告のポイント)

- ・実践において問題と捉えたこと
- ・問題解決の方法として取り組んだこと(解決に至ったかどうかは問わない)
- ・取り組みを通して、課題と考えたこと

### ④ 報告内容における「本質的なこと」を、普遍的な概念や先行研究などと紐づけて、端的に「言語化」する

## 5 その他

報告者1名あたりの発表時間は約45～60分。その後、質疑応答を20分程度行う。